

新年のごあいさつ



武豊町長
山 芳輝

新年、明けましておめでとございます。町民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちあふれた新年を迎えられたこと心からお喜び申し上げます。昨年は、「コロナ禍」という状況の中にあつて、本町の行政全般にわたり、ご理解とご協力を賜わりまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、年始めからの「コロナ禍」により、世界中が震撼させられる事態となり、今もなおその状態が続いております。本町では、これら緊急事態に対応するため、「生活」「子ども」「医療」そして「地域経済」の4つを柱として、「商工業者協力金」「子育て世帯給付金」「学校給食費の無料化」「水道基本料金支援」等、町行政として最大限の対応をさせて頂いたところであります。

こうした厳しい社会情勢でしたが、藤井聡太棋士が最年少で二冠を達成する等、明るいニュースもありました。

昨年の本町の主だった事業と致しましては、企画関連で、令和3年度から12年度を計画期間とした「第6次武豊町総合計画」を策定しました。まちの将来像を「心つなぎみんなでつくるスマイルタウン」とし、各種施策を計画しています。

都市計画関連では、7月に「武豊中央公園」の一部で供用を開始しました。現在は、芝生広場、ウォーキングコースのご利用が可能となっております。

防災関連では、公共施設や小中学校周辺に、防犯カメラを84基設置しました。また、避難所におけるパーティションの配備及び備蓄食料の充実を図りました。

さて、本年におきましても、各種施策を推進してまいります。

まず、コロナ禍につきまして、その推移に引き続き注視してまいります。そして、必要に応じて適切な対応をしまいたいと考えております。

また、本年は新たな総合計画のスタートの年であります。「住みよい町」から「すみたい町」を目指し、「第7次行革プラン」「都市計画マスタープラン」等の長期計画との整合性を見据える中で、皆様の幸せに向けた「まちづくり」の具現化を図ってまいります。

「安全安心のまちづくり」では、生活道路や通学路に引き続き、防犯カメラや防犯灯の設置をまいります。また、武豊中央公園に720㎡のテントシェルターを設置するほか、避難所等で利用可能なパーティション等の更なる充実を図ってまいります。名鉄知多武豊駅東土地区画整理事業では、駅前広場や公園を整備し、利便性の向上を図ってまいります。また、ウォーカーなまち並みも構想に入れていきたいと考えております。

福祉関連では、安心して出産、子育てができるよう、緑丘小学校児童クラブの新施設を完成させ、令和3年度より定員増を図ってまいります。

知多南部広域環境センター、そして屋内温水プールの建設につきましても、カーボンニュートラルも視野に入れた中で、引き続き、各関係機関と協力し順次進めてまいります。

最後になりましたが、新年を迎えるに当たりまして、すべての産業の益々のご発展と、すべての町民の「いやさか」を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

